

第2回

【相続プラン】
相続はオーダーメイドで考える

家族にかざしい

お・も・い・や・り
相続

相続コーディネーターの創始者であり、1万2000件超の相続相談に対処。感情面、経済面に配慮した“オーダーメイド相続”を提案、家族の絆が深まる「夢相続」の実現をサポートしている。(株)夢相続代表取締役。「相続はふつうの家庭が一番もめる」(PHP研究所)など著書25冊出版。TV出演、雑誌取材など多数あり。

公認不動産コンサルティングマスター
相続コーディネーター
夢相続 代表取締役 曾根恵子

事前準備で問題防ぐ

事前に課題を整理し、解決して、相続に備える

ご家庭の相続の様子はおひとりおひとり違います。財産も違い、相続人も違い、また、ご自分の意思も違うため、自ずとオーダーメイドになるということです。自分の家族や財産のことは、自分たちがいちばんわかっているはずですから、対策などしなくても、問題がないと言いたいところですが、それが、なかなか、簡単にはいかないこともあります。

そのため、相続は大変だと思われる所ですが、事前に相続の課題を整理し、解決して、相続に備えておくことができれば、大きな問題にはなりません。具体的な対策まで検討する

「相続プラン」は、現状分析と財産評価、相続税額の算出、課題整理と解決、生前対策などの項目により、検討していくよ

うにします。具体的には、1. 相続人と財産の確認をする、2. 課題を整理する(共有、担保設定、連帯保証、負債などがないか)、3. 財産の評価をする(相続税がかかるか?)、4. 分けられる財産になっているか(もめたら節税できない)、5. 分割金、納税資金はあるか(現金はどうしても必要になる)、6. 財産の分割案を決めておく(もめないためには遺言をしておく)、7. 節税対策をする(経済面の負担はなくしたい)という

ような項目で検討するようにします。このように、「相続プラン」を作るときでも、確認する項目が多く、専門的な知識も必要になるため、家族だけで進めることは難題とも言っています。よって、専門家に相談したり、アドバイスやサポートを受けることも考えましょう。